

事業所名

別海町児童デイサービスセンター

支援プログラム

作成日

R7

年

2月

25 日

法人（事業所）理念		・私たちは、地域社会が人間性溢れる潤いのあるものとなるよう、福祉サービスの充実と発展を目指します。 ・この基本精神のもと 私たちは、個人の尊厳の保持に十分配慮しながら、福祉サービスの実践に努めます。							
支援方針		・障がいのある子どもやその可能性がある子どもに対して、一人ひとりの特性にあわせて必要な支援を行います。 ・発達支援（療育）を提供することにより、生活やコミュニケーションなどに必要な力を、お子様に合った活動により身につけます。							
営業時間		9 時	0 分	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・衣類着脱・排泄・身だしなみなど、日常生活動作の自立に向けてのサポートなど、基本的な生活スキルの獲得を目指します。 ・視覚情報の提示等、お子様の特性に合わせた支援を実践していきます。							
	運動・感覚	・ホールでの遊具（ボール・たいこばし・トランポリンなど）を活用した粗大運動（投げる・つかむ・ジャンプするなど）、体幹の筋力アップを意識した遊びを取り入れ、体力づくりをしていきます。 ・季節に合わせた壁画製作などの活動を通して、ちぎる・つまむ・つかむなど手指機能の向上を目指した支援を実践していきます。							
	認知・行動	・お子様の発達段階に合わせ、絵カードやミニチュア消しゴムなどお子様の興味を引くような様々な道具や玩具を活用し、視覚・聴覚・触覚に働きかける支援を行います。 ・場面により適切な行動がとれるように、支援者が望ましい行動のお手本となり定着を目指します。							
	言語 コミュニケーション	・シャボン玉やストロー遊びなど口を使った遊び、本児の動きに合わせて言葉を聞かせる支援をしていきます。 ・絵カードなど視覚情報を言葉と一緒に提示しながら、真似を促し言葉の獲得、語彙の拡大を目指していきます。 ・やりとり遊びを取り入れながら、相手を意識することができるよう支援します。							
	人間関係 社会性	・親子でふれあえる遊びなどを取り入れ、お子様との関わり方を保護者の方と一緒に考える支援をしていきます。 ・人との距離感に配慮し、様々な経験を積むことにより自信を持って他者とコミュニケーションを取る力を育み、社会で主体的に参加するための支援を提供します。							
家族支援		・療育時には、療育室と一緒にいらっしゃり、適宜療育の内容・意図・目的をご説明しながら支援します。 ・生活の状況を確認し、困り感に応じ活用できる対応について助言します。				移行支援		・在宅から入園や、新規就学（転居に伴う保育機関移動等も含む）などに際し、保護者や本人の意向を尊重しながら円滑な移行ができるよう情報提供等を行います。	
地域支援・地域連携		・デイ内にて専門職支援等を実施する場合には、保育機関・保健師等関係者に周知し、共有することでお子様とご家族が安心して過ごせる環境づくりに努めます。				職員の質の向上		・法人内外の研修や、専門職派遣の際の指導（療育サポート）・支援方法への助言等により職員の資質向上に努めています。	
主な行事等		・季節に応じた活動（水遊び・制作・ゲーム）や、療育目的が同一である場合の小集団活動、卒業（移動）児童へのセレモニー等。 ・避難訓練（地震・火災等：年2回程度）							